



育苗は、水管理と温度管理に気をつけて。無理に伸ばさずガッチリ苗に！

育苗日数の目安は1か月以内

ポイント① 緑化期 ー出芽苗の温度・水管理が大切ー 営農の手引き37~38ページも参照ください。

- ハウスの地面は均平に！ → 傾くと低いところが過湿となり湿害が生じます。
- 軽量培土（**中セキ培土ライト**、**ニューすみかる**）を使用した出芽苗はハウスに並べたら十分に灌水する。
※JA育苗センターの苗は全て軽量培土を使用しています。
- 緑化期の2~4日間は、ラブリシート等で被覆し、草丈3cmとなった時点で日中は、はずす。
- 被覆資材をはずした後も苗が小さい間（1週間程度）の灌水は控えめに。
- ヤケ苗防止のため、晴天時は必ず換気する。
ビニールを新調したハウスは特に高温になりやすいです。
- 夜間はハウスを閉める。（10℃以下にならないように注意する）
- ピアレスフィルム使用の場合は、必ず苗箱に水をたっぷり撒くこと。苗箱乾燥防止のため、すそが捲くり上がらない様注意し、7~10日（本葉1.5葉まで）シートを掛けたままにしておく。（期間中は水やり不要。）

●カビ対策

病害名	薬剤名	散布方法（100箱当たり）	使用時期
白かび・青かび	ダコレート水和剤	100gを50ℓの水にとかして灌水（500倍液）	播種時~播種14日後まで（使用回数2回以内）
赤かび	タチガレエースM液剤	100mlを50ℓの水に薄めて灌水（500倍液）	播種時または発芽後（使用回数1回のみ）

ポイント② 硬化期 ー無理に伸ばさずガッチリ苗に！ー 営農の手引き37~38ページも参照ください。

ガッチリ苗（良い苗）は…

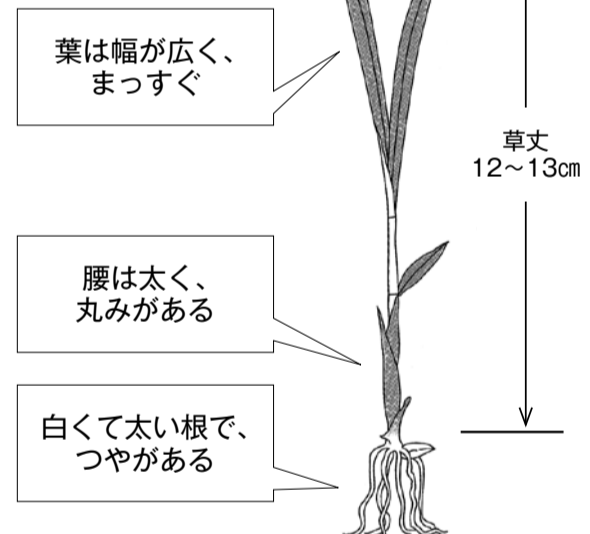
- ・活着が良い
- ・水面からしっかり顔を出す
- ・薬害を受けにくい

〈ガッチリ苗に育てるために〉

- ・苗が成長してきたら（ハウスに並べて2週間を目安）、灌水は朝十分に行い、日中は最小限に、また、夕方の灌水は避ける。
- ・日中は十分に換気をする
- ・田植え7~10日前には、夜間もハウスを開放し苗を外気に慣らす。

コシヒカリ

（ゆめみづほは草丈10cm）



《苗の葉色低下が著しい場合》

- ・活着を促進するため、田植え3日前から前日までに弁当肥を施す。

弁当肥の施用法（稀釈液の使用量は500ml/箱）

肥料名	施用法（100箱当たり）
硫安	500gを50ℓの水にとかして施用（100倍）
液肥10号	250mlを50ℓの水に薄め（200倍）3~4日間隔を空けて2回施用

- ・施用後は、軽く灌水し葉についた肥料を落とす。

ポイント③ 耕起・代かきはあわてずに 営農の手引き39ページも参照ください。

- 耕起スピードは「ゆっくり」と。スピードをゆるめると深く耕すことができ、稲の根が伸びやすくなります。
- 田植え時期に合わせて代かきをしましょう。
- 水質負荷軽減のため、代かきは浅水で行い、田植え時の落水による濁り水を減らしましょう。

◎軟弱徒長苗、老化苗は、田植後の活着や分けつの発生が遅れます。田植時期を考えてガッチリ苗を育てましょう。

右面に続きます

●土づくり

安定した生産を続けるには、土づくり資材の投入による、地力増強が必要です。

※秋に「かほく大地の恵」または「有米蔵」を10a当たり60kg施用していない場合は、春耕前に施用してください。

●基肥

品種名	肥料名	施用量 (kg/10a)	成分量 (kg/10a)			
			N(チッソ)	P(リン酸)	K(カリ)	Si(ケイ酸)
コシヒカリ	BBけい酸パワーコシー発くん	50	5.0	7.5	6.0	6.0

※穂肥成分が含まれています。

※中間追肥を施用する必要はありません。

※リン、カリ、けい酸の成分を補い、倒伏しにくい稲体になります。

※特に側条施肥に適した肥料です。

品種名	肥料名	施用量 (kg/10a)	成分量 (kg/10a)		
			N(チッソ)	P(リン酸)	K(カリ)
コシヒカリ	BBスリム・コシー発くん特号	30	6.0	3.0	3.0
	BBエコ028号	20	2.0	2.4	1.6
ゆめみづほ	BBスリム早生一発くん	40~45	9.6~10.8	4.0~4.5	4.0~4.5
	BBエコ028号	30	3.0	3.6	2.4

※一発肥料には穂肥分が含まれています。

低コスト型の肥料での栽培留意点 (スリムコシ、スリム早生、エコ028号)

- ・リン、カリの成分比率は低くなっていますが、窒素の成分比率は、従来の肥料と同じです。
- ・このため、中間追肥(珪酸加里等)や土づくりを行うようにして下さい。

※基肥一発肥料使用上の留意点

- ①初年目で適量が分からない場合は、倒伏を避けるため施肥量を少なめにしましょう。
- ②全面施肥の場合は、代かき直前に施用しましょう。

石川かほく環境にやさしい農業のすすめ

●代かきは浅水で行い、水田からの濁水の流出を減らしましょう

水田から流出する濁水は、窒素やリン酸などを含んで、水質汚濁の一因となり、特に、代かき時と田植え直前の落水時に多くなります。

●「基肥一発肥料」は稲に効率よく吸収される「環境にやさしい」肥料です。

一発肥料に配合されている緩効性肥料は作物による利用率が高いため、水田から流出する窒素等の量は少なくなります。

●環境にやさしい種子消毒に取り組んでいます。

JA石川かほく育苗センターでは、環境にやさしい微生物農薬による種子消毒にも取り組んでいます。

●道路の泥汚れ防止にご協力ください

道路に落ちた大きな泥や土のかたまりは、歩行者や車両の通行に支障をきたし、地域住民の迷惑になるうえ、交通事故の原因にもなるため大変危険です。農作業後に公道に出る際は泥を落としていただくよう、ご協力をお願いします。

「一発肥料は「乳白粒軽減」に、しかも「環境にやさしく」「省力」「安心」!

早すぎる代かきは、雑草、藻の原因に! 農作業の事故防止に努めましょう!